

武蔵野市民意識調査実施の沿革

武蔵野市では、昭和 59(1984)年に第 1 回市民意識調査を実施して以降、4 年（第 1 回と第 2 回は 3 年）の間隔で「武蔵野市民意識調査」を継続して行っている。次の表に各回の調査項目と実施の背景を記す。

第 7 回である今回の調査は、これまでの調査と仕様を大きく変えて行った。まず、調査方法を訪問配布－訪問回収法から郵送配布－郵送回収法としたことである。標本数を 3,000 件として調査票を郵送し、回答を書き込んだ調査票を返送してもらったところ、1,442 件の有効回答が得られた。調査方法を変えたことで、否定的な意見が出しやすくなるなど回答の出かたに変化が生じている可能性は否めないが、調査員を介すことなく無記名で回答するため、率直な意見が表れていると考えられる。

次に、調査項目を一部変更・追加したことである。これまで継続して調査してきた地域に関する関心や市政の現状、今後のあるべき姿に関する設問については、設問文や選択肢を現在の社会状況等を勘案して見直し、修正した。また、新たに、市の施策に対する満足度・重要度を問う設問を追加した。これを分析し、今後、市政がどのように施策を進めていくかを検討する資料として活用している。

	実施年度	調査手法	標本数 /回収率	調査項目
第 1 回	昭和 59(1984) 年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 82.0%	1 地域に関する関心 2 市政評価 3 学習活動と教育 4 『老後』観 5 市政と情報
第 2 回	昭和 62(1987) 年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.9%	1 地域生活とコミュニティ意識 2 市政評価と自治体意識 3 有償福祉に対する市民意識
第 3 回	平成 3 (1991) 年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 71.9%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第 4 回	平成 7 (1995) 年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.3%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第 5 回	平成 11(1999) 年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.2%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動とコミュニティ活動 3 市政の主要課題に対する考え 4 市の行政のあり方について 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第 6 回	平成 15(2003) 年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 72.1%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動 3 市民生活の安全 4 市政の主要課題に対する考え 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第 7 回	平成 19(2007) 年	郵送配布－ 郵送回収法	3,000 48.1%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度